



「新しい出会いと成長」

～校長先生 入学式・始業式 講話より～

新入生の皆さんは、数週間前まで、小学校六年生であり、学校のリーダーとして活躍してきました。ぜひ、小学校で培ってきた力を、九年間の義務教育の集大成である中学校で、大きく花開かせてください。

まず、新入生の皆さんに一番に知ってもらいたい本校の教育目標をお話しします。

本校の教育目標は「知・徳・体の調和がとれた人間性豊かで実践力のある生徒の育成をめざす」です。「知・徳・体」とは、「学力と心と体」です。この三つをバランスよく成長させていってほしいということです。

中学生の時期は、体が大きく成長します。この三年間で、身長が伸び、体重が増え、体格が大人と変わらないくらい立派になる人がたくさんいます。中学校は、体が大人に近づく時期といってもいいかもしれません。

体の成長にとっては、十分な栄養と運動、そして睡眠が必要です。朝食をしっかり取ることや、夜更かしをしないことなどは、言うまでもありません。しかし、ここで、考えてほしいことは、目に見える成長ではなく、表面的にはわからない、内面の成長はどうか、中身も大人に近づいて行けるかどうかということです。体の成長とともに「確かな学力」と「豊かな心」がバランスよく成長することが大切なのです。

体の成長と同じように、学力や心を成長させる秘訣は何でしょうか。私は、「苦しいことや大変なことから逃げないでがんばること」でないかと思っています。中学校では、楽しいこともたくさんありますが、苦しいことや大変に感じることもきっとあると思います。そんな時にこそ、がんばって内面の成長につなげてください。ただ、がんばろうとすればするほど、うまくいかなかったり、壁にぶつかったりして、悩むこともあると思います。自分では解決ができないようなこともあるかもしれません。そんな時は、周りにいる学級や学年の仲間、先輩、先生方、そして常にそばで見守ってくれる保護者の方に相談してください。きっと、皆さんを支え、よりよいアドバイスをいただけると思います。そして、自分が熱中できるもの、夢中になれるものを見つけ、失敗を恐れずに挑戦する中学校生活を送ってほしいと願っています。

新入生の保護者の皆様、この度のご入学、心からお祝い申し上げます。本日ここに、かけがえのないお子様を確かにお預かりいたしました。私ども教職員一同、お子様が立派な社会人へと成長するために、一人一人へ愛情深く、誠心誠意、最大限の努力をいたします。皆様の一層のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、異動者の紹介をさせていただきます。新しい出会いの中で新しい関わりをつくり、皆で力を合わせ物事に取り組み成長していく、そんな弥富北中学校にしていきたいと思います。

<退職を含む、転出された先生>

- ・児玉 やこ 先生 (国語・弥富市教育委員会へ)
- ・伊藤 宏将 先生 (社会・弥富市立十四山西部小へ)
- ・久米 達哉 先生 (英語・岩倉市立五条川小へ)
- ・木村 凌太 先生 (英語・あま市立甚目寺南中へ)
- ・小堺 遥 先生 (養護教諭・大治町立大治中へ)
- ・加藤 識正 先生 (国語・弥富市立日の出小へ)
- ・岩田 有司 先生 (拠点校指導員・退職)

<転入していただいた先生>

- ・伊藤 睦 先生 (数学・飛島村立飛島学園から)
- ・赤岩 宏彦 先生 (社会・津島市立暁中から)
- ・水谷 俊貴 先生 (英語・弥富市立十四山中から)
- ・古本菜々未 先生 (養護教諭・愛工大名電中高から)
- ・伊藤麻美子先生 (日本語指導・愛西市立佐屋小から)
- ・山崎 真由 先生 (英語・新規)